

静岡支部 春闘突入

今年春闘も交渉を強化していくことを表明



↑ 集会では、春闘の取り組みについて報告がされた。

静岡支部は3月8日(木)、食堂にて春闘突入集会を開催し、2018春季生活闘争をスタートしました。

集会は、川口執行委員長から現在の春闘情勢についての報告があり、「今春闘においても5年連続のベア獲得、各種要求の実現に向け、取組みを強化していく。全組合員が協力し、一致団結して今春闘を勝利するため、共に頑張りますように。」と挨拶がありました。

その後、倉橋書記長から第126回中央委員会支部発言項目に対しての本部答弁の報告。萩原組織部長から春闘諸行動についての報告がされ、団結ワッペン行動や春闘ポスター・標語行動等について説明がされました。

次に、佐藤ユースネットワーク担当から、激布行動等のユースネットワーク諸行動の取り組みについて報告。望月拓教宣担当から静岡支部における春闘ポスター及び春闘標語の入選作品の報告がされました。

集会の最後は、今年も餅つき会を開催し、今春闘を粘り強く交渉を継続していくという思いを込め、お餅をつきました。

餅つきは、川口執行委員長、ユースネットワーク幹事の鈴木達也さん(総職分会)、女性フォーラム幹事の松葉亜矢子さん(機能性分会)が代表としておこない、集会に参加した組合員で今年も団結ガンバローの代わりに「ヨイショー」の掛け声にあわせ、お餅をつき、今春闘においても、組合員一人ひとりが協力し、一致団結していくことが確認でき、集会は終了しました。

粘り強く交渉していく思いを込めて餅をつきました！



↑ 支部川口委員長



↑ 鈴木達也さん



↑ 松葉亜矢子さん

今年はお汁粉を配布しました！



→集会前に組合員さんへお汁粉を配布。

餅つき会に併せ、ユースネットワークの春闘独自行動として、今年も佐藤ユースネットワーク担当及びユースネットワーク幹事が中心となり、組合員さんへお汁粉の配布がされました。

また、全ユースネットワーク組合員の取り組みとして、お汁粉のカップにユースネットワーク組合員一人一人の切実な春闘要求を書き込み、お汁粉を全組合員さんへ若年層の思いを込めて手渡しで配布をおこないました。
ユースネットワークの皆さんお疲れさまでした。

2018支部集団交渉を実施

当局に対し組合員の切実な要求を発言



→集団交渉では、各分会ごとに当局へ向けて要求が発言された。

い。」と挨拶がありました。

その後、組合員の抱える思いを支部分会長、ユースネットワーク幹事が要請文として読み上げをおこない、切実な要求を当局の幹部に訴えました。

今回、各職場から挙げられた要求に対し、今年度も当局の回答は具体的な回答が無く、納得のいく回答では無かったことから、この回答に対して金川副委員長から「組合員の切実な要求であるため、誠意ある具体的な回答を求めたい。」と再度要請をおこない、集団交渉は終了しました。

静岡支部は3月14日(水)、第4会議室にて2018支部集団交渉をおこないました。

開催にあたり、萩原組織部長から趣旨説明がされ、その後の団体交渉で、当局側に向けて「今回の集団交渉で職場の思いを感じ、労働条件や職場改善を考えていただきた

ディーセント要求書・ユース要求書を当局へ手交



↑要求書の手交時に、各種要求を実現するために当局へ思いを伝えました。

集団交渉終了後におこなわれた団体交渉において、「2018ディーセント・ワークの実現をめざす総合改善要求書」、「2018ユースネットワーク要求書」の手交をおこない、要求書は、川口執行委員長より、当局の宮戸総務部長へ手交されました。引き続き、静岡支部は各要求の実現に向けて今春闘を最後まで粘り強く闘っていきます。

春闘ポスター・標語

入選及び佳作者の発表

春闘ポスター

佳作 (合作)

菊村 智子さん (大判分会)
中村 有梨奈さん (大判分会)
小林 璃奈さん (大判分会)

春闘標語

入選

瀬戸 義明さん (設備分会)

佳作

高山 幸也さん (印1分会)
石井 宏治さん (印2分会)
見城 範彦さん (印2分会)
天野 清二さん (整1分会)
藤田 倫也さん (検整分会)

組合員の皆さん、ポスター・標語への「応募ありがとうございました。」

一票投票 賛成率100%達成

春闘諸行動の一つとして、春闘を全組合員で戦い抜くという意思統一を目的に、「2018春季生活闘争体制確立一票投票」を実施し、5年連続のベア獲得、各種要求の実現に向け、賛成率100%を目標に執行部が各分会へ取り組みをおこないました。

集計結果については、対象組合員331人中、318名(期間中に研修・休暇等の組合員を除く)を対象に投票がおこなわれ、318枚が賛成であったことから、賛成率100%を達成することができました。

組合員の皆さんのご協力ありがとうございました。



おめでとうございます!

梅原中央執行委員長来静 今年度は再任用と座談会を開催

静岡支部は、3月13日
(火)設備棟会議室にて、
本部梅原中央執行委員長
を招いての座談会を開催
しました。

今回の座談会は、再任用
組合員を対象として、各
分会から再任用組合員が
参加してくださいました。



→座談会では、食事をとりなが
らリラックスした状態で対話
をしている様子がうかがえま
した。

冒頭、梅原中央執行委
員長から挨拶として、現
在、政府で働き方改革と
して公務員の定年延長の
話が挙げられていること
や、今後の印刷局事業に
直結してくるキャッシュレ
ス化の推進についての話
をしていただきました。

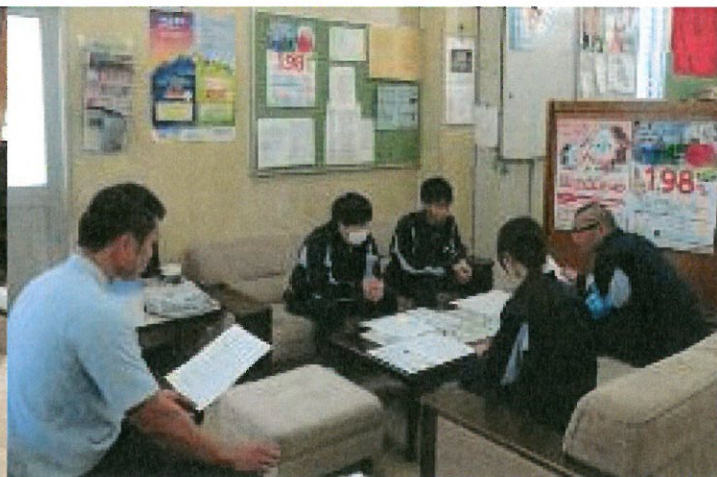
その後、座談会に移り、
現役から再任用として働
くことになってから困つ
ていること、また今後、
再任用として働いていく
中で不安に思うことなど、
再任用組合員の皆さん
の意見を聞くことができ
ました。

今回の座談会では、梅
原中央委員長が再任用
組合員の日々抱く不安
や思いについて丁寧に説
明をしていただき、談話
の中で時には笑いも交え
つつ、再任用組合員の皆
さんと共に良い雰囲気
の座談会を開催すること
ができました。

参加していただいた再
任用組合員の皆さん、お
疲れ様でした。

組合員としてフォローアップを 目的に新規組合員と対話を実施

3月19日(月)、組合事務所にて、今年度の新規組合員
(入局1年目職員)を対象に新規フォローアップをおこない
ました。



今回、フォローアップの開催
にあたって、組織部から新規
組合員を対象に組合について
のアンケートを実施し、全印
刷労働組合がどんな活動を
しているのか、また、労働組
合とは何をする組織なのか、
参加した組合活動はあるの
か等を事前に調査をおこない
ました。

フォローアップは、萩原組
部長の司会で進行され、事前
アンケートで挙げられた項目
を基に、川口執行委員長から
新規組合員へ説明や回答がさ
れました。

また、今回のフォローアップ
では、新規組合員がこの1年
を通して組合活動について
思ったこと、感じたことを聞
くことができ、支部として
とても良い体験となりました。
新規組合員の皆さん、お疲
れさまでした。



→フォローアップは各休憩時間に開催され、
組合員として1年を経過した中で、組合活動
や職場環境などについての思いを聞けました。

～古切手回収ボランティア ご協力のお礼～

2月に実施しました、タイのタクラン村に住む象を保護することを目的とした使用済み切手及び書き損じ
ハガキ回収活動について、各分会から多くの切手・ハガキを回収することができました。

ご協力ありがとうございました。

また、回収活動に協力していただいたユースネットワーク幹事の皆さんありがとうございました。

全国から約250名が集結

平和を求め核廃絶の訴え

3月1日(木)、静岡市の労政会館にて、「3・1ビキニデー全国集会」が開催され、支部からは執行委員とユースネットワーク組合員が参加をしてきました。

今集会は、1954年3月1日に、南太平洋のマシーナル諸島ビキニ環礁でのアメリカによる水爆実験で、静岡・焼津港所属のマグロ漁船・第五福竜丸をはじめ、諸外国の多くの漁船が被災をしたことから、原水爆禁止日本国民会議として今日まで反核・平和、脱原発などを訴えてきたものであり、



→佐藤ユースネットワーク担当によるメッセージの代読。

集会では、原水禁の川野浩一議長から「核戦争の幕開けとなったビキニ事件を風化させてはならない。平和な国を引き継ぐことは、私たちの行動にかかっている」と今集会の意気込みを語りました。

その後、「核兵器廃絶国際キャンペーン」国際運営委員の川崎哲さんが講師として、核兵器禁止条約の成立の経緯や意義についての解説等がされました。

続けて、静岡の高校生平和大使から、昨年のジュネーブの欧州本部訪問や広島・長崎での活動、県内の署名運動の報告、川勝平太静岡県知事の報告、川勝平太静岡県知事のメッセージを全印刷の佐藤ユースネットワーク担当がメッセージ代読として読み上げました。

最後は、「ビキニデー・アピール」をおこない集会は終了し、翌2日に、第五福竜丸で被災し亡くなった久保山愛吉さんの墓前祭を焼津市の広徳院でおこない、焼津市におけるビキニ関連の平和活動についての報告がされました。今集会に参加し、改めて「核と人類は共存できないこと」を組合員の皆さんにも知ってもらうことが重要であることとを再認識しました。

今後もユースネットワーク

を中心に反戦平和・核廃絶の取り組みを強化していきたいと思ひます。

静岡支部は3月11日(土)、静岡市の常盤公園にて開催された「3・11さようなら原発1000万人アクション静岡集会」に執行委員とユースネットワーク組合員が参加しました。

脱原発を市民に強く呼び掛け



→集会の様子。



→デモ行進ではユース組合員が力強くシュプレヒコールを叫び、脱原発をアピール。

集会は冒頭、静岡県平和・国民運動センターの渡邊敏明会長による主催者挨拶があり、続けて、東日本大震災で亡くなられた方々に向けて集会参加者で黙祷を捧げました。

その後、連帯挨拶として浜岡原発を考える静岡ネットワークの鈴木卓馬代表から浜岡原発の危険性について問題提起がされました。

最後は、集会を締めくくるアピール文として、静岡県平和・国民運動センターの田中洋祐副会長が脱原発への思いを力強く朗読した後、集会に参加した全員で団結ガンバロー三唱し、集会は終了しました。

集会終了後、原発再稼働に反対する意思表示としてのデモ行進をおこない、全印刷も登り旗を掲げながら参加者全員でシュプレヒコールを唱和し、脱原発を強く呼び掛け、静岡市中心部の行進をしました。